

第67回(令和8年度)刈谷市長杯サッカー大会要項

1. 出場チーム

刈谷市サッカー連盟に所属するチームで下記項目に該当するチーム

- | | |
|----------------------|---|
| (1) 東海社会人リーグ (3 チーム) | ・ FC 刈谷 ・ ワイヴァン知立 ・ AS 刈谷 |
| (2) 愛知県リーグ (3 チーム) | ・ 豊田自動織機サッカー部・トヨタ車体 FC・アイシンサッカークラブ |
| (3) 西三河リーグ (4 チーム) | ・ 愛知 ARCOBALENO 刈谷 ・ DENSO ・ AS 刈谷 NEXT ・ al-futuro 三河 |
| (4) 大学リーグ (1 チーム) | ・ 愛知教育大学 |
| (5) K リーグ (1 チーム) | ・ Bolamigo |

2. 競技規則及び運営留意事項

◇ルールは、試合当日の日本サッカー協会競技規則による。

◇試合時間、準決勝までは 80 分(40-10-40)、決勝戦は 90 分(45-15-45)とする。

同点の場合は PK 戦(選手 5 人による。5 人目以降はサドンデス)を行い、勝敗を決する。

但し、決勝戦は 10 分ハーフの延長戦を行い、勝敗の決しない場合は PK 戦を行う。

◇大会登録選手名簿(人数制限なし)を大会初日一週間前までに大会本部へ所定の用紙にて提出する。

各試合の出場登録選手は 25 名以内とし、試合中の交代人数は 7 名までとする。

(試合開始 30 分前までに登録選手名簿(4 枚)を本部に提出すること)

※交代要員とスタッフ 6 名(どちらも最大数)がベンチ入りできる。

試合中の交代は各チーム最大 3 回とする。ハーフタイム時の交代は交代回数に含まない。

延長戦において、その直前の 90 分間の交代人数および交代回数と合わせて、最大 8 名かつ合計 4 回(ただしハーフタイム、延長戦開始前および延長戦のハーフタイムを除く)までの選手交代を行うことができる。

◇脳震盪による交代(再出場なし)の追加について

脳震盪による交代は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。

脳震盪による交代で入る交代要員が使われたならば、相手チームは(脳震盪に限らず)いかなる理由であっても追加の交代要員を使うことができる。

◇退場した選手(レッドカード及びイエローカード 2 枚)は、次の試合(1 試合)に出場することができない。

イエローカードが大会中に累積 2 枚に達した選手の、次試合への出場可否について大会規律委員(浜島・植田)にて決定し通知する。

◇ユニホーム・パンツ・ストッキングは、各チーム統一することとし、不揃いの選手は出場できない。

ユニホームの色については、組み合わせ表の若番(対戦カードの左のチーム)をホームとするので、ユニホームの色が重複しないようにすること。

なお、チーム間でユニホームの色を調整する場合は、ホーム・アウェイにこだわらない。

※各チームは、1st ユニホーム、2nd ユニホームを試合毎に用意する事。

ソックスの上にテープやバンデージを巻く、あるいは、アンクルサポーター等を着用する場合、そのテープ等の色はソックスの色と同系色とする。

※カットソックス着用時のアンダーソックスは同系色とし、つなぎ目部分は同系色のテープやバンテージで巻くこと。

◇本部/審判について

1 回戦、2 回戦は、主審・副審・4 審はチーム帯同、本部は連盟派遣で行う。

3 回戦、準決勝戦、決勝戦は主審・副審・4 審・本部は県派遣及び連盟派遣で行う。

◇会場の準備は、第 1 試合を行う両チームで行う。(試合開始 45 分前までには準備を完了する。)

◇会場の片付けは、最終試合の両チームで行う。

◇試合球を各チーム 2 球ずつの持ちよりとする。

モルテン社製 ヴァンタッジオ 4900(芝用)

品番 F5N4900(新柄ブルー) F5A4900(旧柄ブルー) F5A4900-P(旧柄ピンク)

◇試合は雨天決行とする。但し、警報等が発令され中止する場合は刈谷市サッカー連盟より連絡する。

◇試合中の事故等については刈谷市サッカー連盟では責任を負いかねますので、試合に出場する選手は、必ずスポーツ傷害保険等に参加していること。

◇有観客にて大会を実施する。

◇雷・荒天等不可抗力による試合が開始できない・中断・中止について

30 分を限度に待機し、試合の開始・再開または中止を主審が決定する。中断から 30 分を過ぎて開始または再開の判断ができない場合、当該試合は中止とするが、中断が後半開始前の場合は再試合、後半が開始されていれば試合成立とし、中止時点のスコアで勝敗を決定する。同点の場合は抽選で勝敗を決定する。

試合再開は中断時からの再開とし、選手は中断時の選手とする。

決勝戦において、前後半が終了し同点の場合で延長戦を行うことが不可能な場合は、PK 戦を行う。なお、PK 戦も不可能な場合は両チーム同時優勝とする。

◇試合終了後、試合結果を大会責任者（浜島和孝）に速やかに提出する。